

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌
MARCH 2011 No.61

春号

インタビュー

野平一郎

静岡音楽館AOI「コンサートシリーズ2011-12」の
見どころ・聴きどころ

コンサートレポート

調律師とピアノ

AOIはこんなことも
やっています。



野平 一郎

インタビュー

静岡音楽館AOI芸術監督
(作曲家、ピアニスト)

AOIならではの 画期的な企画を！

今シーズンのテーマは「変革」、と申し上げましたが、何も今年に限ってのことではなく、毎年毎年、変革しようと努力しているんですよ。AOIの公演が、今のこの時代に傾聴に値する、意味あるアーティストやクリエイターを取り上げているのかどうか、つねに意識しています。単に耳に心地よいだけの音楽なら自宅で聴けばいいでしょう。わざわざAOIへ足を運んでくださるお客様に、大きな刺激や感動を与え、「来てよかった」「聴いてよかった」と心の底から実感していただけるコンサートを発信し続けるホールでありたい。

その意味で注目していただきたいのが、10月の「アンサンブル・イティネレール」と11月の「マルクス・パヴリック ピアノ・リサイタル」ですね。両者とも今回、AOIが独自に日本に招聘する、今、日本の聴衆に最も聴いていただきたいアーティストたちです。

アンサンブル・イティネレール—日本の現代音楽シーンに とってサプライズな演奏会

アンサンブル・イティネレールはフランスの現代音楽専門の室内オーケストラです。1972年から活動していますから、この分野では老舗楽団といえるでしょう。ちなみに「イティネレール」とはフランス語で「道程」という意味。フランスのヴィルトゥオーゾたちで構成されており、エレキギターや電子楽器まで用いた斬新な音づくりが魅力です。AOIのような地方のホールが彼らを招聘するというのは、現代音楽に通じる人ならサプライズな出来事でしょう。

今回はこの楽団を創設し、50歳で亡くなった伝説の作曲家グリゼーの代表作や、日本人でこの楽団のピアニストを務める棚田文紀さんの日本初演の作品、そしてAOIがフランス在住の南米系作曲家リゾ＝サロムに委嘱した作品も世界初演します。私も80年代にこの楽団でピアノを弾いていた経験があり、グリゼーには個人的な思い出もあり、とても楽しみにしています。



“真のベートーヴェン弾き”による 「ピアノ・ソナタ選集」の集大成

AOIでは「ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ選集」をシリーズで開催しており、3年目の今年は7月と11月に予定しています。7月は日本のピアニストで、今、一番脂がのっている東誠三さんに、第12番《葬送》、第14番《月光》、第26番《告別》、第31番を演奏していただきます。この4作品を一度に聴けるなんて、すごいコンサートです。

11月にはドイツからマルクス・パヴリックを招聘します。彼は10歳のころから神童と呼ばれ、あのカラヤンも才能を認めた天才肌のピアニスト。有名な第23番《熱情》と、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中でも超難曲といわれ、誰にオファーしてもなかなか演奏していただけない第29番《ハンマークラヴィアー》を弾いてもらいます。第29番を弾けるのは彼しかいないとAOIが数年がかりで交渉したんです。

東誠三とマルクス・パヴリックは、現在最高の“真のベートーヴェン弾き”です。その2人のベートーヴェンをAOIで静岡のみなさんに聴いていただけるのは、とても嬉しいことです。

「静岡・室内楽フェスティバル2011」の試み

AOIはその規模から、もともと室内楽に最適なホールです。今シーズンはその室内楽の価値を再確認するラインナップを揃えました。11月の「静岡・室内楽フェスティバル2011」は、アマチュアから日本最高峰まで多彩な演奏家が集います。オーケストラの音楽とは違い、室内楽はどちらかといえば地味で通好み、と言われるますが、今シリーズではさまざまなスタイルで、室内楽の幅の広さ・奥の深さを十分に堪能していただけたと思います。

11月23日（水・祝）の「アマチュア・アンサンブルの日」は、アマチュア音楽家が順に登場する8時間ものロングコンサート。入場無料ですから、聴く側・演奏する側、どちらにしても、アンサンブルの楽しさと、AOIの室内楽ホールとしての魅力を直接実感していただけるでしょう。まえからやってみたかったんです、こういうオープンな企画。ぜひ成功させ、今後も続けていきたいですね。

映画、バレエ、ダンス… 豊かな芸術表現を支える 音楽の魅力を伝える

6月の「池辺晋一郎が贈る「映画音楽の愉しみ」」は2008年に大好評頂いたコンサートのアンコール。2012年2月には静岡市民文化会館・大ホールで「ストラヴィンスキー3大バレエ一挙演奏！」という画期的なプログラムを用意しました。AOIの企画会議委員である指揮者・沼尻竜典氏が温めてきた構想が実現します。翌3月には、2010年度までAOIの企画会議委員としてご尽力いただいたピアニスト・高橋アキさんとダンサー・田中浜さんを招き、現代音楽の雄ジョン・ケージのドラマティックなダンス音楽を堪能できる「生誕100年・没後20年 ジョン・ケージ：フォー・ウォールズ」を。

2012年1月の「フライブルク・バロック・オーケストラ J.S.バッハ：管弦楽組曲全曲」では、現代音楽とは対極にある古典音楽バロックの粋を味わえるでしょう。本場のオーケストラによる《G線上のアリア》は必聴です。

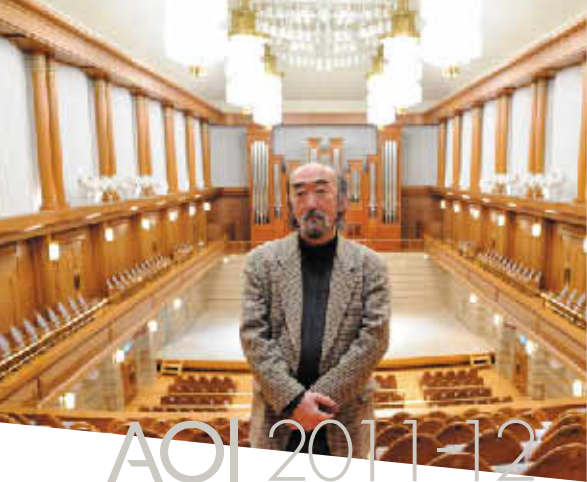
他、ここでは語り尽くせない魅力的なプログラムが揃っています。今シーズンもぜひAOIへお越しいただき、ホールでしか味わえない音楽の醍醐味を全身で感じてみてください。

静岡音楽館AOIの「コンサートシリーズ2011-12」のチケットが、この3月から発売された。今年度は「変革」をテーマに、音楽の歴史に変革をもたらした作曲家—バッハ、ベートーヴェン、ストラヴィンスキー、ケージ、グリゼー等をフューチャーし、時代を切り拓いた音楽の創造性に迫る。野平一郎芸術監督に、今シーズンのプログラムの見どころ・聴きどころをきいた。

静岡音楽館AOI「コンサートシリーズ2011-12」の
見どころ・聴きどころ

静岡音楽館AOI企画会議委員
高橋アキさん、
ありがとうございました。

静岡音楽館AOIの開館前から長きにわたり企画会議委員としてコンサートシリーズのプランニングに参画いただいたピアニストの高橋アキさんが、2011年3月31日で退任されることになりました。「ピーターとおおかみ」(1999)、「P&P エssenシャル・ミュージック」(2000)、「兵士の物語」(2004)、「モートン・フェルドマン：TRIO」(2007)、「驚異！ 5台のピアノの競演」(2010)ほか、たくさんの刺激的なステージを創っていただきました。この場をお借りして、これまでのご尽力に深く感謝申し上げます。



第1期 好評発売中!

6/22 (水) 19:00 開演 (18:30 開場) 全指定 ¥4,500 (会員 ¥4,050)

ブラヴォー・アンコール! **池辺晋一郎が贈る「映画音楽の愉しみ」**
「ゴッド・ファーザー」で名をはせた生誕100年の巨匠ニノ・ロータの曲目を中心に、作曲家・池辺晋一郎が皆さまを映画の世界へと誘います。そして福田進一と鈴木大介のギター、原田節のオンド・マルトノ、野平一郎のピアノが華を添えます。その様はまさに「ブラヴォー!」の一言。ぜひ心ゆくまで映画音楽をお楽しみください。

7/23 (土) 18:00 開演 (17:30 開場) 全指定 ¥4,000 (会員 ¥3,600)

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ選集Ⅴ **東誠三 ピアノ・リサイタル**
名曲《月光》をはじめ、一度は耳にしたことがあるベートーヴェンの名曲の数々がずらり。充実のプログラムで皆さまをお迎えします。いま日本でもっとも信頼できるピアニストのひとり東誠三の力強くも繊細な演奏をお楽しみください。ぜひお聴き逃しなく!!

第2期 7/16 (土) より発売 (会員先行発売 7/9 (土) ~15 (金))

9/22 (木) 19:00 開演 (18:30 開場) 全指定 ¥4,500 (会員 ¥4,050)

エマニュエル・パユ フルーツ・リサイタル〜華麗なるオペラ・ファンタジー〜
天賦の音楽性と美音で人々を魅了し続けているパユが待望の再来! そのきらびやかな音色に酔いしれてください。

10/8 (土) 18:00 開演 (17:30 開場) 全自由 ¥1,800 (会員 ¥1,620)

第16回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサート
オーディションで選ばれし、才能たち。静岡から新しいアーティストが羽ばたきます。演奏家として踏み出す新しい一歩。感動のステージから目が離せない!!

10/15 (土) 18:00 開演 (17:30 開場) 全指定 ¥4,000 (会員 ¥3,600)

アンサンブル・イティネレール
超一流演奏家集団・アンサンブル・イティネレールがAOIにやってくる! 静岡のみならず日本でもっとも注目されるコンサートのひとつ。聴き逃すなんてもったいない!! 多種多様なプログラムが目白押し! 極上のアンサンブルをお楽しみください!!

11/12 (土) 18:00 開演 (17:30 開場) 全指定 ¥4,000 (会員 ¥3,600)

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ選集Ⅵ **マルクス・パヴリック ピアノ・リサイタル**
AOIで演奏するために来日するマルクス・パヴリック。挑むのは超難曲《ハンマークヴァーア》! 「帝王」とよばれたカラヤンから認められたその才能を爆発させる!

11/18 (金) 11:30 開演 (11:00 開場) *12:30 終演予定 全指定 ¥1,800 (会員 ¥1,620)

期間 予室内楽フェスティバル2011 ランチャタイム・コンサート **小林美恵 (ヴァイオリン) & 柴形亜樹子 (チェンバロ) デュオ・リサイタル**
多くのお客様が毎回待ち望んでいるランチャタイム・コンサートを今年度も開催。ヴァイオリンとチェンバロのやさしい音色があなたを包み込みます。音楽を聴いて過ごす至福のひととき。いつもよりちょっぴり贅沢なランチャタイムをぜひAOIでお過ごしください。

11/18 (金) 19:00 開演 (18:30 開場) 全指定 ¥3,500 (会員 ¥3,150)

期間 予室内楽フェスティバル2011 **AOI・レジデンス・クワルテット**
皆さまお待ちかねAOI・レジデンス・クワルテット! 前回は「子どものためのコンサート」が大好評のうちに閉幕。毎回、多彩な演奏で会場を魅了する4人が今回はベートーヴェンの世界に挑みます! 弦楽四重奏の牙城に金字塔を打ち建てる!

11/23 (水・祝) 12:00 開演 (11:30 開場) *20:00 終演予定 入場無料 (申込不要) *ただし定員によりご入場をお断りする場合があります。

期間 予室内楽フェスティバル2011 **アマチュア・アンサンブルの日♪**
アンサンブル好きな人が大集結! 音楽好きにはたまらない8時間にもおよびドキドキわくわくのステージ!! なんと入場無料!! 心躍る演奏をお楽しみください。

11/25 (金) 19:00 開演 (18:30 開場) 全指定 ¥4,000 (会員 ¥3,600)

期間 予室内楽フェスティバル2011 **ブラヴォー・アンコール! N響首席奏者たちによる室内楽**
静岡・室内楽フェスティバル2011の最後を飾るにふさわしい、豪華な公演。日本を代表するオーケストラ・NHK交響楽団の首席奏者とAOIの芸術監督・野平一郎の夢の共演。室内楽の極みともいえるべき至高のひとときをぜひ。

12/7 (水) 11:30 開演 (11:00 開場) *12:30 終演予定 全指定 ¥1,800 (会員 ¥1,620)

ランチャタイム・コンサート **勝山雅世 オルガン・リサイタル**
皆さまお待ちせしました! リクエストの非常に多いパイプオルガンのコンサート。しかも今回は昼間の公演。クリスマスの季節、午後のひとときを荘厳な音色とともにお過ごしください。

12/18 (日) 15:00 開演 (14:30 開場) 全指定 ¥2,500 (会員 ¥2,250)

子どものためのコンサート **神童 モーツァルト**
神童とよばれたモーツァルトとおなじ年ごろの子どもたちにもぜひお聴きいただきたいコンサート。中でも広く愛されているモーツァルトの作品の一つ《フィガロの結婚》は必聴です!! ぜひ親子でお楽しみください。

第3期 10/29 (土) より発売 (会員先行発売 10/22 (土) ~28 (金))

2012 1/12 (木) 19:00 開演 (18:30 開場) 全指定 ¥5,000 (会員 ¥4,500)

オーケストラを聴こう **フライブルク・バロック・オーケストラ J.S.バッハ:管弦楽組曲全曲**
大人気「オーケストラを聴こう」シリーズ。初来日のフライブルク・バロック・オーケストラがバッハ・珠玉の名曲を皆さまにお届けします。響き豊かなAOIのホールでの演奏はまた格別! この日会場は「ブラヴォー!」の声で包まれます。

1/21 (土) 15:00 開演 (14:30 開場) 全指定 ¥4,000 (会員 ¥3,600)

大阪・山村流の地唄舞
大阪4流でもっとも伝統のある大阪の山村流、その至芸をAOIでお楽しみいただけます。日本が誇る伝統芸能のしっとりした音楽と品位あるその舞をご堪能ください。

2/4 (土) 14:00 開演 (13:30 開場) 全指定 A席 ¥6,000 (会員 ¥5,400)・B席 ¥5,000 (会員 ¥4,500)

会場／静岡市民文化会館・大ホール *静岡音楽館倶楽部会員は、あわせて4枚まで会員割引でお求めいただけます。

オーケストラを聴こう **ストラヴィンスキー 3大バレエー挙演奏!**
沼尻竜典が長年温めてきた構想が実現! なんとストラヴィンスキーの傑作である3つのバレエ音楽を一挙に演奏。迫力のステージが皆さまをお待ちしています!

3/10 (土) 18:00 開演 (17:30 開場) 全指定 ¥3,500 (会員 ¥3,150)

生誕100年・没後20年 **ジョン・ケージ:フォー・ウォールズ**
現代音楽の「発明家」ジョン・ケージの生誕100年・没後20年を記念した公演。2003年に東京で高橋アキが上演したダンス音楽の大作を再現! あの時の感動が再びここ静岡でよみがえる!

22歳以下
¥1,000

CONCERT REPORT

コンサートレポート

(**アンドレアス・シュタイアー**
チェンバロ・リサイタル
2月6日 (日)
金子 建志
(音楽学・指揮、常葉学園短期大学教授、元・静岡音楽館AOI市民会議員))



撮影:日置真光

〈きらきら星変奏曲〉のように、主題の旋律線を“顔”として扱い、化粧による変化を楽しもうという「装飾変奏」とは違い、〈ゴルトベルク〉は主題に語る第1曲《アリア》のメロディ・ラインを記憶してもほとんど意味が無い。主題に聞こえる上声部の旋律線は“仮面”に過ぎず、「低音部とそれに連動した和音の変化」という水面下の部分に“顔”が隠れているからだ。「低音変奏」や「性格変奏」と呼ばれるこうした変奏技法は、鯛(いわし)料理の店みたいなので、形としての鯛を見せる必要はなく、あくまでも食材と見做して、単一の食材から出来るだけ多種類の料理を作ってみせるというのが『料理人の腕』となる。凄腕のシェフ、パッハは『2段鍵盤のチェンバロ』という、当時、最先端の鍵盤楽器の機能誇示の要素も含めて、30品のレシピを呈示してみせた。しかも、その凝りに凝ったレシピが“見る音楽=楽譜”としては理解できても、“聴く音楽”として呈示するのは至難の業であり、そこが厨房に入った演奏者の腕の見せどころとなる。全曲が「A・B」の2部形式なので、反復を励行すれば「A・A・B・B」だが、実際に弾く場合、2回目は装飾音等に変化を付けるため「A1・A2・B1・B2」のようになる。例えば《アリア》の11小節目にはランドフスカやグールドが採用したことで脚光を浴びた(和音を下に向かって弾く)下降アルペジオがあるが、シュタイアーは1回目のA1は普通の上昇アルペジオ、反復したA2は下降に変えていた。更に30の変奏が終わった後『裏表紙』として、再び《アリア》を弾いた時も反復していたのだが、その際は2回とも上昇型だった。そこに在るのは「同じまま2回繰り返すコピー的な行為を嫌い、必ず何かしらの変化を付ける」という美学。これはシュタイアーに限らず、近年〈ゴルトベルク〉に挑んでいる演奏家に共通したスタンスと言って良い。

グールドのように基本的にストレートならともかく、今回のシュタイアーを始めとする多くのチェンバロ奏者のように、ほぼ全曲で反復を遵守し、その都度、装飾に変化を付けようとした場合、難しいのは、パッハ自身による30品の料理自体の変化に加えて、同じ料理を、少したけ『盛り付け』を変えて2回ずつ出すことによって生じる表面的な微修正が、『味付け』、つまり本質的な深部に集中したいというレベルの聴き手の視界を遮ってしまいがちなこと。本来は構造顕示を意図して付加したつもの装飾音の弾き分けが、奏者の思惑とは逆に、ラモーやクーブランのクラヴサン曲集みたいに、ギャラントな装飾を娯楽的に楽しむような聴き方に、耳を誘導してしまうことになるからだ。

今回のシュタイアーも〈3番〉〈7番〉〈22番〉〈24番〉のように、中庸なテンポ以下で繊細な変化を味わう曲よりも、〈14番〉〈17番〉〈20番〉〈23番〉〈26番〉〈28番〉〈29番〉のように、トッカータ風な素早い動きで、2段鍵盤の上を、腕まくりした両腕がアクロバティックに駆けめぐる技巧的な変奏の方が、抵抗感なく楽しめた。

こうした「超絶技巧練習曲」な側面は、近代的なピアノが完成期に入ったヴィルトーヅ主義の時代にリスト等が書いた一連の練習曲を先取りしているわけで、「クラヴィア練習曲第4部」と題されて出版されたこの変奏曲にも、本来の目的として備わっていた重要な要素ではある。ただし、シュタイアーの場合、チェンバロだとそうした面の方が目立ち過ぎるように思うので、タッチの変化が駆使できるフォルテ・ピアノで再挑戦した方が、独自の雄弁術が、よりプラスに発揮されるのではあるまいか。

連載④ 調律師とピアノ

前回までの連載で、私たち調律師の技術について調律・調整・整音の3つに分けてお話をしました。今回は、コンサートの現場でそれらが実際にどのように進められているのかについてお話しします。例えば演奏会当日、リハーサルの始まる2時間前にホールへ入った私たちは、まずピアノの位置決めから仕事を始めます。リサイタル、声楽の伴奏、バイオリンとのデュオなど、その日の演奏形態にあわせた位置にセッします。初めて仕事をするホールでは、ピアノを舞台の前方や後方に動かしてみ、響きの違いを把握しておきます。同時にピアノを弾いてみて、調律や調整、整音がどの程度必要かを判断します。『この状態だと調整は40分から50分は必要、調律はさほど狂っていないから40分で終了、そうなると整音に30分くらいは取れそうかな』などと仕事の手順を考えます。調整では、例えば鍵盤やアクションの部品が滑らかにムダなく動くように各部の接点を磨き、細かい調整の狂いも出来るだけ修正しておきます。ごく僅かな接点の摩擦抵抗や調整の狂いがピアニストの微妙なタッチコントロールを曇らせる原因になるので、鍵盤アクションが正しく作動しているかを入念に調べます。調整が仕上がった所で調律を始めます。リハーサル終了後、開演前に修正の時間がある場合は、ここでは手早く仕上げ、調整や整音に時間を割く事もあります。せっかく調律に時間をかけて仕上げてでも、リハーサル中に照明の熱や冷暖房の影響で全体が微妙に狂ってしまう事を考えると、少しでもほかの作業に時間を振り分けた方が良い場合もあるからです。そして最後に音色の調整である整音作業を行います。ホール全体に明瞭に響き、しかも打鍵の表情に音色も対応するように、いろいろなタッチで調べながらハンマーフェルトに手を入れてゆきます。リハーサル中は、ピアニストが思うようにピアノが反応しているか、全体の響きの質やバランスはどうか、などを客席で確認し、合間にピアニストと相談しながら、必要に応じて手早く調整や整音を修正します。しかし、リハーサル終了後に調整や整音を修正して音の出方が変わってしまっは、ピアニストは本番で戸惑う事にもなりかねません。このように仕事の組み立て方や進め方もその時々状況に臨機応変に対応し、本番ではピアニストに安心して臨んでいただけるように気を配っています。

松尾楽器商会 調律師 倉田尚彦

■コンサートシリーズ 2011-12の
見どころ・聴きどころ

ピアノ 伴奏法 講座

1/16(日) 第5期 ピアノ伴奏法講座修了記念コンサート

AOIでは「アンサンブルができるピアニスト」を養成するピアノ伴奏法講座を開催しており、その類稀な企画に全国から注目を集めています。野平一郎芸術監督をはじめ、今期は漆原啓子、横川晴児といずれも日本を代表する一流の奏者が講師をつとめ、全国の応募者から選ばれた6名の受講生と全10回にわたる講座を終えました。最終回の修了記念コンサートでは今年、新たな試みとなった三重奏も披露しました。



ピアノ伴奏法講座について熱く語る
野平一郎芸術監督。



今年三重奏にも挑戦！

撮影：日置真光



最後の講師陣による演奏は圧巻です。

AOIはこんなことも AOIは、コンサートシリーズの他にも、 さまざまな事業を展開しています。

2/16(水)

静岡市北部生涯学習センター美和分館×静岡音楽館AOI 連携事業
冬の演奏会～箏の調べ～

AOIは静岡市内の生涯学習センターと交流を図り、共催事業としてミニ・コンサートや学芸員による講座などを行っています。コンサートの出演者には「静岡の名手たち」オーディション合格者を積極的に起用し、若い音楽家の活動をサポートしています。今回は第13回合格者、渡辺鳳代賀さんの出演で箏のコンサートを開催し、和の音色を愉しみました。



箏の伴奏で〈ふしの山〉などをみんなで歌いました。



曲目解説などおはなしの
コンサートは大好評。

三味線の音色も聴けて
贅沢なひと時。

静岡の 名手たち

第16回「静岡の名手たち」オーディション 観覧者募集！

5/14(土)：声楽部門、打楽器部門
5/15(日)：弦楽器部門、アンサンブル部門(いずれも順不同)
場所：静岡音楽館AOI・ホール(8階)
入場無料
※開催時間については後日ホームページにて告知いたします。

2/27(日) ロダン賞コンサート

AOIが開館以来、毎年開催している「静岡の名手たち」オーディション合格者は合格者によるコンサートへ出演するほか、(財)静岡市文化振興財団が主催するコンサートへの出演、企画登用などの機会に恵まれます。また、第14回より「ロダン賞」「コンチェルト賞」が創設され、第14回ロダン賞を受賞した沼野朱音さん(ヴァイオリン)がロダン館でコンサートを行いました。

コンサートの 前後に...

チケットでスマイル
Ticket de Smile
加盟店のご紹介

「魚彩」から「日本海庄や」へ店名が変わりました！
お料理もグレードアップし、おいしくなりました!!

■日本海庄や 静岡南口店 TEL.054-289-7488
JR静岡駅南口出ですぐ 静岡市駿河区南町18-1 サウスポット静岡2F
営業時間 / 11:30～14:00、17:00～23:00

【おすすめ】刺身 大漁盛り(九種五貫) ¥2,480
漁師盛り(七種四貫) ¥1,980
船頭盛り(五種四貫) ¥1,280

Ticket de Smile
サービス

夜、刺し盛または
ファーストドリンクサービス



Ticket de Smile
サービス

お食事をご利用のお客様はドリンク1杯無料
※席をご予約ください。
※他クーポン・セットメニュー・宴会との併用はできません。

Ticket de Smile加盟店は静岡街中に65店舗! ぜひご利用ください。
※チケットに記載の日付に限り、1回ご利用いただけます。
※チケットを提示されたご本人さまのみ有効です(店舗によって異なる場合があります)。



第6期 ピアノ伴奏法講座受講生募集中!

講師：野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)
横川晴児(クラリネット奏者)、向山佳絵子(チェロ奏者)

日程：①7/2(土) ②7/3(日) ③9/10(土) ④9/11(日) ⑤10/29(土)
⑥10/30(日) ⑦11/26(土) ⑧11/27(日) ⑨12/10(土) ⑩12/11(日)
①、②、⑥はチェロ、③、④、⑧はクラリネット、⑤、⑦はトリオ、⑨は両者、
⑩は修了記念コンサートを開催予定。

会 場：静岡音楽館AOI・ホール(8階)、講堂(7階)

募集人数：6名

受講料：¥120,000

締切：2011年4月24日(日)必着

※ホームページより応募要項がダウンロードできます。

聴講生随時申込受付中!

聴講料/一般：奇数回及び第10回¥2,000
偶数回(第10回を除く) ¥3,000 *1日有効
22歳以下：1,000円
☆お得な10回通し券もあります。
一般：20,000円、22歳以下：9,000円



企画募集 事業

2/26(土)

第12回
「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業
J.S.バッハ 短調ミサ曲 BWV232
全曲演奏会

AOIでは静岡ゆかりの演奏家・演奏団体の活動を支援し、静岡の音楽文化が創造的に発展することを目的として、AOIとの共同制作事業の募集をしています。今回は磐田オラトリオ研究会によるコンサートを開催しました。



撮影：日置真光

第13回「静岡音楽館AOI コンサート企画事業」募集中!

静岡音楽館AOIでは静岡ゆかりの音楽家からコンサートの企画を募集します。AOIのノウハウを活かして一緒にコンサートを作りませんか? 最大70万円までAOIが助成いたします。この機会であればできないような、新鮮で意欲的な企画のご応募をお待ちしております。

締切：2011年5月31日(火) 必着

※ホームページより応募要項がダウンロードできます。

駅から歩いて1分!!
気軽に食べれるイタリアンで大人気のお店です。
(結婚式2次会や各種宴会・貸し切りもやっています!)

■トラットリアー丁目静岡駅南口店 TEL.054-202-2701
JR静岡駅南口出ですぐ 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ1F
営業時間 / 11:00～21:30 (L.O.21:00)



【おすすめ】春ランランセット ¥1,500

[バスタ・ピザ・バスタグラタンから1種] 十日替わりサラダ+ドリンク+ [ケーキかアイス]

学芸員雑誌

静岡音楽館AOI学芸員

小林 旬

オンド・マルトノ ってなに？

写真提供：原田節

トウシュ
オンド・マルトノの魔法の箱。ボタンやレバーで、音の強弱や長さを表現します。操作は左手でします。音楽の表現をここで決めます。

リボン
鍵盤の手前に1本の糸(リボン)が張っており、糸に付けられたリングに右手の指を入れてスライドさせ音程を決めます。この楽器の特徴的な演奏法です。

イラスト：ハラダ ティエ

「オンド・マルトノ」という、なんだかよく判らない言葉は、楽器の名まえ。「オンド」はフランス語で「波」、「電波」。その楽器は、フランスのモーリス・マルトノ(1898-1980)が1928年に開発した電子楽器で、いまのシンセサイザーのもととなった。マルトノは第1次大戦で通信兵として従軍したとき、真空管が発する正弦波の澄んだ音を聴いて、これまでにない音の楽器を思いついたらしい。

オンド・マルトノは、真空管から生じる2つの異なる周波数の違いで音の高さや大きさをつくるのだが(ヘテロダイナ。現在はデジタルで発音する楽器もある)、鍵盤楽器のかたちをしているものの、原理的には鍵盤で演奏するのではなく、指にリングをはめ、鍵盤のまえに張られたリボンを左右することで音の高さをコントロールする。チェロも奏いたマルトノは、この楽器を鍵盤楽器ではなく、弦楽器のように演奏することをイメージしていたようだ。これによってヴィヴァラートはもちろん、「うーん」「ひゅーん」というような、広い音域をなめらかに昇降するグリッサンドが可能となった。—いまでは鍵盤でも演奏できるが、それは《ボレロ》(1928)で知られるモーリス・ラヴェル(1875-1937)のアドヴァイスによったともいわれている。

オンド・マルトノが電子楽器である以上、スピーカー(ディフューザー)は必要だが、それにはふつうのスピーカーと同じ構造の「プリンシパル」(メイン)のほか、複数の金属バネを内蔵し、独特の残響を聴かせる「レジナンス」、シンバルや銅鑼を吊って金属的な共鳴を得る「メタリック」、棕櫚の葉のかたちのボディに表裏それぞれ12の弦が張られた「パルム」の4種類(あるいはそのうち2,3種類)があり、奏法に加えて、これらのアコースティックな性質が、この楽器をたんなる「機械」ではなく、温かみある音色をもった「楽器」とらしめている。「音楽の表現をテクノロジーではなく、あくまでも演奏者という人間にゆだねる、すなわち機械ではなく楽器としての完成を目指している」(原田節)のだ。

この楽器が活躍する代表的な作品は、フランスで現代音楽を主導したオリヴィエ・メシアン(1908-92)の壮大な愛の歌、《トゥランガリラ交響曲》(1946-48/90-92)だが、映画音楽の巨匠ヘンリー・マンシーニ(1924-94)が作曲したTVドラマ「刑事コロンボ」のテーマ(NBC「ミステリー・ムービー」のテーマ、1971)も、ぜひとも挙げておきたい。オンド・マルトノでしか表現できないメロディである。そんな、オンド・マルトノならではの魅力が溢れる、オンド・マルトノのための作品をもっとたくさん聴くことができれば嬉しい。

サインとともに振り返る！作曲家編！

1 野平一郎：エテロトピー(混在郷)(1997-99)

1997年10月5日(日)
オルガン・フェスティバル



Ichiro Noheira
エテロトピー

2 三輪眞弘：弦楽四重奏曲《皇帝》ハ長調(2000)

2000年7月18日(火)
AOI・レジデンス・クワルテット



三輪眞弘
弦楽四重奏曲《皇帝》

3 マルコ・ストロッパ：…of Silence(2007/09)

2007年11月23日(金・祝)
クロード・ドラングル サクソフォン・ライブ



撮影：日置真光

4 間宮芳生：オペラ《ボポイ》(2009年)

2009年6月28日(日) オペラ《ボポイ》



撮影：日置真光

間宮芳生
オペラ《ボポイ》



撮影：日置真光

5 寺嶋陸也：箏歌《星合曲》(2009年)

2009年7月18日(土)
民俗と都市の芸能 江戸の囃子と箏歌

謹んで
地震・津波による災害の
お見舞いを申し上げます

この度の地震・津波により被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧と皆様のご健康をお祈りいたします。

静岡音楽館AOIでは、3月13日(日)に開催を予定しておりました「奥州平泉・毛越寺の法会」について、岩手県平泉・毛越寺の出演者が来静できなくなったため、公演を中止させていただきました。

中止にあたり、チケットをお求めいただきましたお客様にはご理解ご協力のまわりましたこと、お礼申し上げます。

静岡音楽館AOI

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。
なお、平成24年度以降の退会をご希望のかたは、平成24年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2011年2月末現在) 50首順

- かわした歯科クリニック
- (株)静岡情報堂
- (株)サンタモンコーポレーション
- 減炎・指圧六番町ぬぐすい
- 静岡ガス(株)音楽部
- (株)タミヤ
- 静岡ターミナルホテル(株)
- 三菱電機(株)静岡製作所

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開演時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開演時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIでは、小さなお子様にも良い音楽を聴いていただきたいと思います。未就学児童の入場を制限しております(22歳以下のチケットが必要です)。小さなお子様連れのお客様は、他のお客様のご迷惑にならないよう充分ご配慮ください。

要事前予約・託児料：1人¥1,000
すわん TEL.054-247-7477(9:00~21:00)
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。



CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00~21:30開館

〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9

お問合せ

054-251-2200

AOI

検索

主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

協 賛 アイワ不動産 HARVEST HOMES